

5月定例教育委員会

資料報告

※資料配布での報告とさせていただきます。
※御質問があれば、御連絡ください。

○資料報告一覧

- 第六期長崎県教育振興懇話会第3回会議について
(教育政策課)
- 令和6年度全国高等学校総合体育大会長崎県実行委員会の
設立について
(体育保健課)

報 告 事 項 ()

教育政策課

件 名	第六期長崎県教育振興懇話会 第3回会議について
概 要	<p>1. 開催日 令和5年4月21日(金)</p> <p>2. 会議内容 (1) 教育長挨拶 (2) 協議/「第四期長崎県教育振興基本計画の策定について」</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <p>≪教育方針、目指す人間像について≫</p> <p>○「目指す人間像」を見ると、かなりしっかりとできた人というイメージがある。でも今は、いろんな人がいて、違う意見があっても多様性を認め合おうとする世の中の流れがあると思うので、もう少し優しさを感じ取れるような方針であって欲しい。それが、共生社会の実現にも繋がるのではないかと思う。国の方針は国の方針として、長崎県では何を大事にするのかということをもっと議論していくべき。</p> <p>≪基本的な方針、教育目標、施策について≫</p> <p>○働きがい改革の推進については、子どもたちにとって先生の存在は非常に重要であることを考えると、一つの施策として位置付けるのか、それとももっと大きく目標の一つに挙げるべきなのかは検討してもいいと考える。</p> <p>○企業的な視点で言うと、作った経営方針を現場にどこまで、どう浸透させるかが非常に重要。方針を学校の先生にどう浸透させるのか、もちろん現場の意見もある。結論は出なくてもどう浸透させ、変革していくべきかという議論も必要だと思う。</p> <p>○教育を地域総がかりでやっていくんだという思いを感じ、企業にとっても教育に関わることを考えようという意識醸成に繋がると思う。</p>

- 教育でこれから求められるのは、いわゆる〇〇教育とかよりも、もっと主体的であるとか、学びへ向かう意欲であるとか、そういったものを育てることを重視していくようになっていくと思う。今は、その過渡期だと感じる。日本の教育が目指すところは知識重視だけではないので、目標設定がもう少し、大枠のところになると良いのではないかと感じる。
- 教育のベースに知・徳・体があるということは不易だろうと思う。ただ、知・徳・体の中身は時代とともに変わっていく。特に知の部分は、授業のあり方や生徒が身につけるべきもの、学び方は変わっていくが、知・徳・体の3つというのは変わらないと思う。そこをしっかりと押さえた上で、今の時代に必要な「ふるさと」や「産業人材」、「地域との連携」などをどう整理していくかが大事だと思う。
- 国際を考える時にも、「地域」という自分の母体となるものは非常に重要になるが、地域と国際、あるいはグローバルという言葉もあるようにグローバルとローカルといった視点も必要だと思う。
- 施策の例だけ見ても非常に盛りだくさんである。優先順位を付けて選択と集中でやるのだろうけれど、学校現場は大変だと感じる。もっとブラッシュアップしていく必要があるのではないと思う。
- 「文化」という表記について、国と同様に「文化芸術」とする方が良いと思う。例えば、豊かな心の育成の面では、芸術にも触れることが良いと思うし、STEAM教育のAはアートなので、そういった意味でも「文化芸術」とする方が良いと思う。
- 「働きがい」という言葉については、いわゆる働きがいの搾取のような趣旨と違った誤解を生みかねないので、「働き方」と「働きがい」の違いを区別してきちんと見える方が良いと思う。
- 教員が元気であることが、子どもたちをしっかりと育てることに結びつくんだということをもっと見えるような形にして、働きがい改革の推進というのをもっと大きく打ち出してもいいと思う。
- 民間企業では、何に重点的に取り組むかをすごく大切にしている。行政は全てまんべんなくやるべきという考えもあるかもしれないが、その地域が持っている特色や強みをもっと伸ばすことを考えることが必要と強く感じる。懇話会委員と県が一緒になって、この5年間で何に重点を置いてやっていくべきなのか、何を削ぎ落して何に注力すべきなのかを議論する必要があると思う。

○「地域」を大きなテーマと考えるのは、今強く言われている「開かれた教育課程」の観点からも重要であるし、また、本県は離島を含めて地域との関わりが深い状況にあると認識しているので、長崎県らしさの観点からもいいと思う。

報 告 事 項 ()

体育保健課

件 名	<p>令和6年度全国高等学校総合体育大会（北部九州4県開催） 長崎県実行委員会の設立について</p>
概 要	<p>北部九州4県で開催される全国高等学校総合体育大会（長崎県は9競技開催）の成功と円滑な準備を進めるため、「長崎県実行委員会」を設立</p> <p>1 令和6年度全国高等学校総合体育大会「長崎県実行委員会」 【設立総会・第1回総会】</p> <p>(1) 日 時 令和5年4月26日（水）10:30～</p> <p>(2) 場 所 長崎県庁 1階 大会議室</p> <p>(3) 委 員 等 県教育長を会長とし、委員43名で構成</p> <p>(4) 主な内容</p> <p> ①設立総会 令和6年度全国高校総体開催の概要、開催準備経過、長崎県開催基本構想等について報告。また、実行委員会会則を承認。</p> <p> ②第1回総会 長崎県競技種目別大会概要（競技会場・競技日程等）、長崎県高校生生活動概要について報告。また、事業計画、専門委員会規程、長崎県医療救護対策要項を承認。</p> <p>2 今後の主な準備計画（令和5年度）</p> <p>(1) 第2回総会（2月予定、競技種目別大会収支予算書の審議等）</p> <p>(2) 各専門委員会の開催 （「競技」4回、「広報・報道」「宿泊・衛生」「輸送・警備」「高校生生活動」各2回）</p> <p>(3) その他</p> <p> ○競技種目別大会運営経費試算及び予算編成等</p> <p> ○競技種目別大会役員・補助員の編成及び役員養成事業の実施等</p> <p> ○競技種目別ポスター図案の募集及び決定</p> <p> ○高校生生活動推進組織を設置し、協議及び活動</p> <p> ○その他大会開催準備に必要な事項</p>

令和6年度全国高等学校総合体育大会長崎県実行委員会委員

役職		所属団体	所属役職	氏名
1	会長	県教委	県教育委員会	教育長 中崎謙司
2	委員	県スポ協	公益財団法人 県スポーツ協会	理事長 荒木健治
3		県高体連	県高等学校体育連盟	会長 小野下和宏
4			県高等学校体育連盟 (兼 ソフトボール競技専門部長)	副会長 濱野正義
5			県高等学校体育連盟 (兼 弓道競技部長)	副会長 福田雅子
6			県高等学校体育連盟	理事長 野濱健
7			県高等学校体育連盟 ソフトテニス競技専門部	部長 平山政一
8			県高等学校体育連盟 アーチェリー競技専門部	部長 橋本豪
9			県高等学校体育連盟 空手道競技専門部	部長 満行洋介
10			県高等学校体育連盟 ホッケー競技専門部	部長 北村富啓
11			県高等学校体育連盟 ボート競技専門部	部長 原昌紀
12			県高等学校体育連盟 ウエイトリフティング競技専門部	部長 市丸智基
13		県高等学校体育連盟 卓球競技専門部	部長 川崎健	
14		会場地市町	長崎市教育委員会	教育長 橋田慶信
15	佐世保市教育委員会		教育長 西本眞也	
16	島原市教育委員会		教育長 森本和孝	
17	諫早市経済交流部		部長 北島淳二	
18	大村市市民環境部		部長 石山光昭	
19	川棚町教育委員会		教育長 諸岩達哉	
20	競技団体	県ソフトテニス連盟	理事長 金子正剛	
21		県アーチェリー協会	理事長 大束淳一	
22		県空手道連盟	理事長 宮川誠悟	
23		県ホッケー協会	理事長 吉永文典	
24		県弓道連盟	理事長 浦本薫	
25		県ボート協会	理事長 中島克彦	
26		県ウエイトリフティング協会	理事長 梅崎昭夫	
27		県ソフトボール協会	理事長 米倉博	
28	県卓球連盟	副会長 朝長靖彦		
29	学校関係	県教育庁高校教育課	課長 田川耕太郎	
30		県高等学校長協会	会長 立木貴文	
31		県高等学校文化連盟	会長 平山啓一	
32		県中学校体育連盟	会長 修行勝則	
33		県公立高等学校PTA連合会	会長 野口富士男	
34	広報・報道	読売新聞長崎支局	支局長 小淵義輝	
35		日本放送協会長崎放送局	コンテンツセンター長 真野裕也	
36		長崎新聞社編集局運動部	部長 城知哲	
37	宿泊・衛生	一般社団法人 県医師会	常任理事 牟田幹久	
38		公益社団法人 県看護協会	副会長 谷貴子	
39		県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長 村木營介	
40		公益社団法人 県食品衛生協会	副会長 木下喜行	
41	輸送・警備	県警察本部交通部交通規制課	課長 本田浩之	
42		県警察本部警備部警備課	課長 細川誠	
43		一般社団法人 県バス協会	専務理事 峯比呂志	
44	関係団体	県スポーツコミッション	事務局長 江口信	

